

平成25年度入試【推薦入試Ⅰ】

小論文

(総合理工学部 地球資源環境学科)

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 2 ページ、解答用紙 2 枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、すべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 問題紙は、持ち帰ること。

地球資源環境学科 小論文 問題

イタリアのローマから北東に95キロ離れたラクイラを地震が襲ったのは2009年4月6日未明、約7万人の地域住民が眠っているところでした。この地震で300人以上が死亡し、数千人の被災者が発生しました。ラクイラ地域には地震の前の6カ月間、数百回にわたり弱い地震が感知されていました。しかし、防災庁付属委員会は、「大地震に結び付く可能性は低く、地震警報を発令しない」という結論を出しました。その6日後、マグニチュード6.3の大地震がラクイラを襲ったのです。

イタリア検察は「不正確かつ不完全で矛盾した情報を提供した」として、防災庁付属委員会所属の科学者と公務員を起訴しました。それに関する裁判がイタリアで行われ、6人の地震学者（地球科学者）が過失致死罪で禁錮6年の実刑判決を受けました。これに関して、日本地質学会は以下の声明を発表しました。この声明文を読んで、以下の問に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

問1. イタリアの2009年ラクイラ地震の予知に関する裁判結果に対し、日本地質学会はどのような考えを持っているかを簡潔に説明しなさい。

問2. 地震災害を軽減するための地球科学者としての役割について、あなたの考えを述べなさい。